

テーマセッション 米国における経済構造の変化と金融・資本市場の対応

司会 若園智明(日本証券経済研究所)

【セッション要旨】

本セッションは米国を対象とし、同国で観察される経済構造および金融・資本市場の変化を報告するとともに、その将来展望を議論する。

金融危機後の 10 年間を顧みると、米国は日本や欧州と比較していち早く経済成長へと軌道修正に成功したかのように見える。この間の米国経済は、Google (Alphabet)、Amazon、Facebook (Instagram)、Apple などが成長を牽引するとともに、Uber (自動車配車)、Airbnb (民泊)、TaskRabbit (代行サービス) や WeWork (オフィスシェア) などの新興企業も勃興した。これら企業の共通点はインターネットを背景としたプラットフォームの形成にあり、このプラットフォーム・ビジネスの展開は Gig Economy (シェアリング・エコノミー) と呼ばれる新たな経済形態を促していることも指摘されている。

金融分野に目を向けると、ブロックチェーン技術、スマートコントラクトや AI に代表される FinTech を取り込んだサービスの拡大や、新技術を活用して金融機能をアンバンドリングした業者も登場している (例えば銀行業では Simple や Arrival など)。このような金融分野で観察される変化は、同国経済のプラットフォーム化への対応も主たる要因として挙げることができる。

本セッションはこのような事象を背景とし、①プラットフォーム・ビジネス、②資本形成、③金融システムの 3 つをキーワードに挙げ、これらの現状と将来展望を議論する。

【パネリスト】

1. 佐賀卓雄(日本証券経済研究所)「プラットフォームと証券業のビジネスモデル」
2. 若園智明(日本証券経済研究所)「資本形成(発行市場)の変遷」
3. 掛下達郎(福岡大学)「資本市場中心の金融システムの形成とその特徴」